

秦野市議会

議会だより

発行者：秦野市議会議員 **やひろ伸二**

連絡先：〒259-1304 秦野市堀山下1番地

TEL. 0463-88-2777 (後援会事務所)

http://members2.jcom.home.ne.jp/shinji.yahiro/

議会報告

平成25年 秦野市議会 第2回定例会が終了!



秦野市議会第2回定例会(6月議会)が6月7日から6月27日の会期で開催され、平成25年度の補正予算案を含めた市長提出議案5件、報告9件などを審議・決議し閉会しました。主な議決内容は以下の通りです。

1. 陸上競技場全天候化の工事業者が決定



▲全天候化が待たれる陸上競技場

秦野市中央運動公園陸上競技場を全天候型トラックへ変更する予算が第1回定例会で可決された後、入札が行われ、広和・ミツヨシ建設共同企業体が2億6,213万円で落札し5月23日に仮契約が行われました。今回は、1億5千万円以上の工事入札であることから、議会での工事契約承認が必須であり、審議の結果、満場一致で可決しました。本市の陸上競技場は、現在アンツーカー(赤褐色の土で、冬季や降雨による影響などにより使用できなくなることがありました。また、県内19市の中で本市のみが全天候型の陸上競技場を有していません。陸上競技をされる方々からは全天候化の要望が多く寄せられていました。

なお、完成は平成26年1月31日の予定、その後、公益財団法人日本陸上競技連盟第3種公認陸上競技場の取得が計画されています。合格すれば、大きな大会の開催が可能となり、一流選手の競技を間近で見られることが期待できます。

2. 専決処分を承認

風しんの発生や蔓延防止ならびに、平成25年4月6日から7日にかけての大雨により発生した災害の対応として、早期の予算措置をとり専決処分をしたことについて、議会の承認を求める提案がされ、満場一致で可決しました。

審議では、「大雨に対する災害対応補助金は、この金額で十分なのか」という質問が出され、「今後も順次対応していく」との答弁がなされました。

なお、承認した事業と金額は下表の通りです。

事業名	金額
予防接種事業	762万9千円
既成宅地防災工事補助金	430万円
消防施設維持補修事業	55万円

3. 大根分署の消防ポンプ車を入替え

消防署大根分署配置の消防ポンプ自動車の老朽化(導入から13年経過)が進んでいることから、議会へ新たな車両を購入するための「契約、および財産の取得に関する提案」がされ、満場一致で可決しました。「鶴巻分署にも13年を経過した車両があるが、なぜ大根分署の車両が先なのか」などの質問が出され、「走行距離や放水時間で優先順位を決定した」との回答がありました。なお、車種や金額などは下表の通りです。



型式	エルフ	金額	2千845万5千円
総排気量	2,900cc	納入	2013年12月18日

4. 市道の新規・変更認定を可決

昨年度に実施した市道調査を基に、19路線の新規、7路線の起点・終点を変更する議案が提出され、満場一致で可決しました。

この市道認定の多くは、宅地開発により造られた道路で、現地を視察し問題ないことを確認しました。宅地開発以外の市道認定は、下表の4カ所で、市道626号線(鈴張町(警察署付近の市営住宅跡地))について、「遊休地となっている場所だが、今回売れたのか」という質問が出され、「売れていないが土地の価値を高めるため、道路の変更をする」との回答がありました。

＜宅地開発以外の認定道路＞

市道	住所	理由
342	曾屋 1-1659-1	曾屋インターオアシス建設に伴う終点変更(短縮)
557	鶴巻南 1-1170-1	鶴巻温泉駅南口整備に伴う起点変更
626	鈴張町 580-6	市遊休地の価値を高めるための起点変更
1803	堀西字沼城 下 2294-3	国からの土地譲渡に伴う田頭橋までの終点変更(延長)

5. 教育委員会の委員が決定

教育委員会の委員で、教育長を務めている内田賢司氏(61歳)が8月31日をもって任期満了となることに伴い、同委員を再任するため、議会の同意を求める議案が提出され、賛成多数で承認しました。

平成25年 第2回定例会 一般質問内容 やひろ伸二

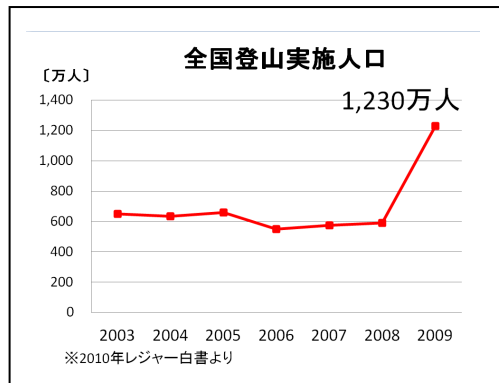


今議会では、下記の質問を行いました。主な内容は下記の通りです。

秦野の知名度アップについて

〔質問〕

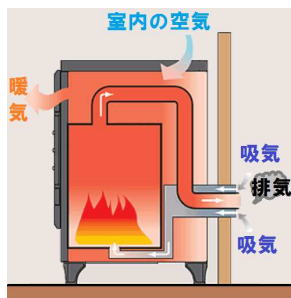
(1) 登山ブームの中、富士山を望むには絶好の東地区に展望スポットを設置する計画はあるのか？



- (2) 公共施設にペレットストーブを導入する計画だが、薪ストーブと比較したメリットは何か？
- (3) ペレットストーブの導入スケジュールと経費について具体的な計画はあるのか？

〔回答〕

(1) 今年度、第6回秦野市植樹祭を実施した名古屋地区の三本に、展望スポットを今年度中に整備する予定である。



- (2) メリットは、薪ストーブとの違いである燃料にある。ペレットストーブは、圧縮成型した固形の木質ペレットを燃料とするものである。薪ストーブよりも熱量は低いが、燃料の貯蔵、着火、火力調整、消火等の扱いはペレットストーブの方が容易であり、イニシャルコストも安価である。
- (3) 本年秋までにくずはの家へ設置し、冬に向け試験稼働を行う予定である。経費はペレタイザーの設置工事で約300万円、ストーブの設置に約70万円の予算を計上している。

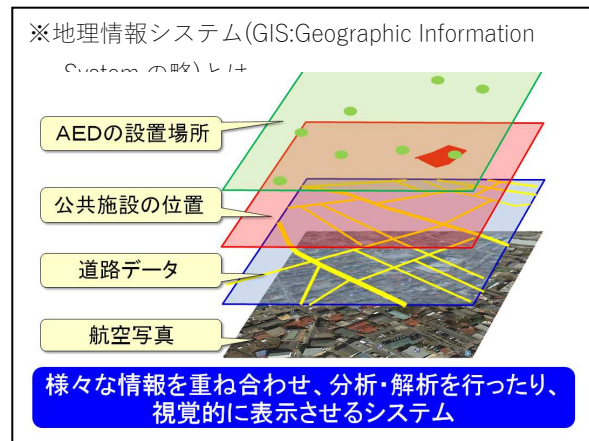
意見要望

ペレットストーブが、市民から評価を得られた際には、木質バイオマスストーブ設置補助金枠を増やすことも検討してほしい。また、今回導入するペレットストーブがマスコミなどに大きく取り上げてもらえるようPRをお願いします。さらに、森林づくり課と商工観光課で協力し、本市が登山ブームに乗れるようPR強化と知名度アップをお願いします。

GIS(※)の利活用について

〔質問〕

(1) 本市でのGIS利用状況、および住民サービスとして提供されているものはあるのか？



- (2) 現在、災害が発生した際の被災者を支援するシステムが無い状況の中、避難者に対してどのような対応を行うのか？
- (3) 災害時に被災者を支援する「被災者支援システム」を導入する計画はあるのか？

〔回答〕

- (1) 本市で活用中のGISは、所管10課、13業務で利用しているが、現時点では住民への情報サービスとしての活用は行っていない。
- (2) 被災者の情報を紙ベースで集約し、避難所ごとに情報をまとめることとなる。
- (3) 今年度、神奈川県「地域ささえあい体制づくり事業」で要介護者システム導入の内諾を得た。そのオプションで被災者支援システムを導入することは可能であるが、必要な予算を確保した上で検討していきたい。



意見要望

近年、予想されている広域地震や富士山の噴火など、現在の調査・研究では、長期的の間隔で発生していることが分かりました。もし、大きな災害が発生したとしても、本市で暮らす市民の皆さまが、公平且つ迅速な支援が受けられるよう、来年度での被災者支援システム導入を強く要望致します。また、市民への情報サービスとしてGISの利用促進も併せて要望致します。